



式典に出席した新成人

336人が新成人に

1月13日、八鹿文化会館ホールで養父市成人式を挙行しました。式典には、新成人280人（対象者は336人）が参加し、晴れ着姿の新成人は、旧友らと笑顔で再会しました。

式典では、梅谷市長が「感謝の気持ちを忘れないでほしい。心・技・体を充実させて、豊かな人間性を培ってほしい」と激励しました。

その後、新成人を代表して岸本卓さんと田中美紀さんがあいさつ。「まだまだ身につけなければならぬことは多いですが、将来のビジョンをしっかりと持ち、毎日が将来につながるように生活していきたい」と力強く誓いました。



園児が「110番の日」をPR

「110番の日」の1月10日、養父警察署は、道の駅ようかか但馬蔵でキャンペーンを実施し、110番の適正利用を呼びかけました。

キャンペーンには、子ども向けの警察官の制服を着た高柳幼稚園の園児も参加。パトカーの前に整列して、保護者と記念撮影した後、パトカーの無線交信で神戸市の県警本部通信指令課から防犯についての説明を受けたり、パトカーに体験乗車して署員から車内設備の説明を受けました。

その後、園児らは、道の駅の利用者に「よろしくお願ひします」と110番の適正利用を広報するポケットティッシュなどを手渡し、110番の日のPRに貢献しました。



道の駅でキャンペーングッズを手渡す園児

旧出合小学校区でワークショップを開催

関宮地域では、旧小学校区を単位としたコミュニティづくりを推進しています。その一環として、自分たちの暮らす地域の将来へのアイデアを出し合うワークショップを、旧出合小学校区の区長さんの呼びかけにより、昨年12月20日から本年3月13日までの全5回にわたって旧出合小学校で実施しています。

旧出合小学校区では、統合により小学校が無くなるとともに、小学校区単位での交流行事も減り、人口減少や活力低下などの課題が山積しています。

ワークショップでは、小学校区の魅力として「伝統文化の継承」「人情がある」などが挙げられた一方、課題として「少子高齢化・過疎化の進行」「行事の維持が困難」「校区内の交流がない」などの意見が出されました。今後のワークショップでは、よりよい校区にするためのアイデアなどが話し合われます。



地域の魅力や課題を発表する参加者